

第159号

平成12年 12月議会
(2000年)

ふなばし

市議会だより

発行 船橋市議会
編集 市議会広報編集委員会
電話 (047) 436-3012



新世紀とともに成人式を迎えた若者たち

いよいよ新しい世紀に入りました。市民の皆様のご健康とご多幸をまず、ご祈念申し上げます。

二十世紀を「戦争の世紀」と呼ぶ人がいるそうです。人類は、過去百年の間に、二回の大戦とベトナム戦争や民族紛争などによって、歴史に例を見ないほどの人命と財産を失ったからです。しかし、その過程で、人類は着実に民主主義を獲得してきました。ですから、二十世紀は「民主主義の世紀」と言ってもよいの



船橋市議会議長 田中 恒春

民主主義という世界遺産

ではないでしょうか。

日本国民も、前世紀の半ばに、多くの犠牲を払って民主主義を手に入れました。申すまでもなく、主権在民の理念に基づく参政権の獲得です。しかし、せっかくな手にした民主主義も、国民が正しく行使しなくては、古代ギリシャの二の舞を演じることになり、衆愚政治による多くの悲劇を招くこととなります。

二十一世紀を迎えるに当たって、私たちは今こそ、民主主義という前世紀の世界的世界遺産を、後代に守り残す責任と義務があると思います。

この船橋市では、新しい世紀の始まりの平成十三年に、知事選、県議補欠選、市長選、市議補欠選などが予定されています。しかし、せっかくな獲得した参政権を行使しないというの、いかなる理由があるにせよ、人類の歴史に対する背徳ではないかと考えるのですがいかがでしょうか。民主主義という世界遺産を守ることを二十一世紀の展望が開けてくると私は思います。

一般・特別会計補正予算を可決し、平成11年度決算も認定

議員・市長等の期末手当10%削減を延長

第四回定例会

平成十二年第四回定例会は、十二月四日から十二月二十二日までの十九日間の会期で開かれました。

初日には、閉会中継続審査事件となっていた平成十一年度各会計決算の審査報告と採決が行われたほか、市長から提出された十一議案について説明があり、これに対する質疑を、八日に五人の議員が行いました。

また、十一日から四日間、一般質問が行われ、二十六人の議員が市政の諸問題について質問いたしました。

さらに、十八日には常任委員会、十九日には予算特別委員会が開かれ、付託された議案及び請願・陳情の審査が行われました。

最終日には、市長提出議案、議員提出議案、請願・陳情及び追加提出された人事案件などを議決し、閉会いたしました。

会議の経過

十二月四日(月)

○開会

○会期の決定

○決算認定の審査報告及び採決

○市長提出議案の提案説明

○行政報告(01157)による集団食中毒に関する経過及び対策について

○平成十二年市立船橋高校入学者選抜に関する調査特別委員会の中間報告

八日(金)

○市長提出議案に対する質疑

○市長提出議案の付託

十一日(月) 十二日(火)

○一般質問

十三日(水)

○一般質問

十四日(木)

○議会運営委員会

○一般質問

○請願・陳情の付託

十八日(月)

○常任委員会

十九日(火)

○予算特別委員会

二十日(金)

○付託事件の審査報告及び採決

○市長追加提出議案の審議及び採決

○議員提出議案の審議及び採決

○行政報告(01157)による集団食中毒の終息について

○閉会

人事案件

最終日に教育委員会委員任命の同意を求める議案が提出され、議会は同意しました。

○教育委員会委員

村瀬 光 一

また、十四日には選挙管理委員及び補充員の選挙が行われ、次の方々が当選されました。

○選挙管理委員

小川 治 男

中村 照 次

金子 武 文

○選挙管理委員補充員

長野 泰 二

玉井 正 夫

杉宮 一 子

藤代 守

議案について

議案の概要

予算関係

法施行令の一部改正により整備するもの。

平成十二年度一般会計補正予算

第一号

補正額 五億四千二百六十五万円

平成十二年度下水道事業特別会計補正予算

第一号

補正額 十一億二千四百万円

平成十二年度船橋駅南口市街地再開発事業特別会計補正予算

第二号

補正額 一億六千六百六十六万円

平成十二年度介護保険事業特別会計補正予算

第四号

補正額 七千五百五十二万円

平成十二年度一般会計補正予算

第十一号

減額補正額 二億円

条例関係

条例関係

中央省庁等改革関係法施行法等の施行に伴う関係条例の整理に関する条例

第五号

法等の施行により整備するもの。

火災予防条例の一部を改正する条例

第八号

法施行令の一部改正等により整備するもの。

放課後ルーム条例の一部を改正する条例

第七号

七林、三山東放課後ルームの新設、及び南本町、古和金の二施設を位置変更するもの。

市営住宅条例の一部を改正する条例

第八号

人事案件

一面に掲載

公明党

第一号について

問 船橋駅南口再開発事業の駐車場の全体計画はどうか。

答 再開発ビル地下二階駐車場のほか、駅前周辺の駐車需要に対応する計画である。

第二号について

問 地元事業者への対応は。

答 事業の特殊性、高度な技術が求められるものを除き、受注機会を多くつくりたい。

第四号について

問 介護保険給付費の当初予算に対する影響はどうか。

答 算入する影響はどうか。算入(〇%)の執行率で推移しており、影響はない。保険料の設定で低所得者に対する対策はどうか。

第七号について

問 全小学校区の開設計画は。

答 本年度末に五十小学校区を整備し、平成十五年度には全小学校区に開設したい。

第八号について

問 常時介護を必要とする人の入居要件が規定で明確にされているが、その内容は。

答 介護内容の調査と市町村の意見聴取である。

緑政会

第一号について

問 設置が義務化された合併処理浄化槽に補助金を出すこと是非について伺う。

答 下水道未整備地区住民に全額負担させるのは不公平、この厚生省判断がある。

第二号について

問 J R船橋駅北口に恒久的な駐輪場を整備すべきでは。

答 用地確保は大変困難だが、引き続き努力する。

第六号について

問 防火戸の甲種・乙種廃止の意味を伺う。

答 新たに目的別区分が採用された。

第九号について

問 汚水幹線の能力は。

答 流量〇・一七二立升/秒、処理人口二万四千八百人。

第十号について

問 処理場の全体計画は。

答 処理面積千三百一十畝、処理人口十万人、処理量一日最大十立升。

市民連合

第一号について

問 J R船橋駅北口の駐輪場不足対策。②東船橋駅の自転車対策に具体的整備計画を。③管理員室の改善を。

答 ①北口関連の駐輪場の中間に対する影響はどうか。算入(〇%)の執行率で推移しており、影響はない。保険料の設定で低所得者に対する対策はどうか。

第九号について

問 今後の事業計画はどうか。

答 都市基盤整備公団の事業計画では、平成十六年度に一部まち開きを目標として、公園と利用計画について調整していきたい。

議案に対する質疑

※緑政会は、4会派(ふなばし21・市清会・緑政会・新風)を代表して質問いたしました。

日本共産党

第一号について

問 機者解消策の展望は。また、市立特別養護老人ホーム入所者の優先順位はどうか。

答 建設中の市立特別養護老人ホームが完成すると、残り30人余になる。公設の特別養護老人ホームの管理運営状況を調査して検討する。

第二号について

問 減額をお願いしたい。

答 二重川拡幅工事短縮の考え方は、その間、調整池等暫定対策が必要ではないか。

第三号について

問 総事業費にこの補正額をなぜ見積りできなかったのか。

答 駅前広場はまだ暫定的なもので、整備が進めばさらに広がる可能性もある。

第四号について

問 今後、一般会計から繰り出しになる工事はあるのか。

答 今後、一般会計から繰り出しになる工事はない。

第五号について

問 帯等の設置は考えていない。

答 市立特別養護老人ホーム建設に当たり、ケア現場の方の声を反映させているか。

第六号について

問 市内の特養の方々のチェックも受けて手直し等してあり、このまま進めたい。

第七号について

問 介護担当職員の超過勤務状態をどう考えるか。

答 増員を含め、改善に向けて協議中である。

第八号について

問 例規集のデジタル化について、今後の見直しを伺う。

答 利点が多いので検討する。

第九号について

問 七林放課後ルームから学校までの通学路の環境整備が必要ではないか。

答 防犯灯の整備等、環境整備を図りたい。

議員提出の条例案

発議案第一号

生活道路の整備及び歩行者の安全の確保に関する条例

生活道路の歩道、排水路、街灯及び信号機の整備は、市民の強い要望であり、市民の要望に沿った生活道路等の整備を促進するもの。

発議案第二号

議長等の期末手当の特例に関する条例の一部を改正する条例

財政状況等を勘案し、引き続き議長・副議長・議員の期末手当の額を平成十四年三月まで一〇%減額するもの。

審議経過及び採決結果

第一号は石川敏宏議員外七名(日本共産党)から提案され、建設委員会に付託され審査された。

第二号は最終日に倍田賢司議員外七名から提案された。

採決の結果、第一号は、賛成多数で可決され、第二号は、全会一致で可決すべきものと決した。

常任特別委員会の動き

総務委員会

審査事件

○議案3案
○陳情3件

審査の概要

議案について
第5号は、療養に要する費用の算定方法を改正する必要性はあるのか、との質疑があり、討論はなかった。第6号は、質疑・討論ともになし。第11号は、この事故の原因について、どのように考えているのか。十分な安全確認をされているのか。十分な安全確認をされているのか。十分な安全確認をされているのか。

陳情について
第57号法務局職員増員の意見書提出に関する陳情は、採択。第58号JR労使紛争早期解決の意見書提出に関する陳情、第59号朝鮮民主主義人民共和国との国交樹立実現の意見書提出に関する陳情は、不採択。なお、本会議で採決の結果、第58号・第59号は採択となり、意見書を発議した。

厚生委員会

審査事件

○議案1案
○陳情16件

審査の概要

議案について
第7号は、今後の放課後ルーム整備計画について質疑があり、「放課後ルーム条例の施行以来、未整備のところを改善、整備しようという市の姿勢を高く評価する」との賛成討論があった。採決の結果、全会一致で可決した。

陳情について
主な質疑として、第63号は、公設公営となる前と現在の設備状況等について、第64号は、四年生以上の在籍割合と「入所のしおり」の記述等について、第66号は、職員の配置状況や継続雇用等について、第69号は、所得階層と保育料の関

環境経済委員会

審査事件

○請願陳情2件

審査の概要

ごみステーションへのネット設置に関する陳情について
は、①ネットを全所的に設置した場合の予算とネット耐用年数。②各町会の実態把握。③資源ごみ回収協力金の年間予算。④カラス、猫等による被害の実態調査。⑤環境指導員の仕事、等の質疑があり、請願陳情について

採決の結果、採択に賛成が日本共産党の委員のみの少数のため、不採択と決した。

米価下落・輸入野菜激増阻止の意見書提出に関する請願については、①生産者の出荷価格の推移調査の実施。②市内の米専業農家軒数と野菜農家の経営が成り立つ最低面積。

建設委員会

審査事件

○議案3案
○発議案1案
○請願陳情11件

審査の概要

議案について
第8号は、条例改正に伴う入居条件強化等について質疑、身体障害者入居事務への配慮を求める賛成討論があった。

第9号は、工事の検査体制、市・公団間覚書の費用負担区分等について質疑、事業が公団側に有利にならないよう求め、賛成討論はまちまち

発議案について
「市民要望の大変高い緊急課題であり、歩行者の安全を確保するために必要」との賛成討論、「道路整備はまちまち

文教委員会

審査事件

○請願陳情11件

審査の概要

請願陳情の主な質疑として、市立幼稚園等設置(西船橋駅下総中山駅南口側)に関する陳情では、①幼稚園の充足率、地域間格差。②陳情でいう状況の真偽等について。

幼児教室・幼稚園の補助金に係る陳情2件では、幼児教室の評価と補助等について。

教科書採択に係る陳情3件は、①過去の事象の歴史的認識。②学習指導要領との関係。③陳情の越権行為等について。

学校給食に係る陳情3件は、①塩素検査の対象をキャベツにした理由と他の品目の検査。②輸入野菜等の使用調査。③地場産の食材利用の方向性

平成十一年度決算を認定

第三回定例会に設置された決算特別委員会(池沢敏夫委員長、七戸俊治副委員長外十人)は、閉会中の十一月七日から四日間わたって、平成十一年度決算十一件の審査を行った。(七日・九日に質疑、十日に討論・採決)

「主な質疑」
一般会計
国際交流、行革十一億円の積み上げ根拠、入札価格事後

議会運営委員会

議場に国旗掲揚に関する

陳情は、平成十一年第四回定例会に提出され、継続審査となっていたものである。今定例会においても、会派の態度は前回と変わらないとの意見から、直ちに採決したところ、多数で継続審査と決した。

平成十一年度市立船橋高校入学者選抜に関する調査特別委員会

平成十二年市立船橋高校入学者選抜に関する調査特別

委員会は、平成十三年の入学者選抜を目前に控え、「提言」を主とした中間報告を行ったので、以下、報告する。

一、初めに
平成十二年市立船橋高等学校普通科入学者選抜に当たり、「校長裁量により合格基準に達しない三人を合格と決定。この中には、本市議会及び市教育委員会職員の子弟が含まれている」と報道された。議会としては、平成十二年の入学者選抜に関し事実を

予算特別委員会

議案第一号(一般会計)

民生費は、介護保険の申請数の変化と施設入所者の見込み。衛生費は、合併処理浄化槽のEM菌効果、下水道計画区域外での維持管理助成。土木費は、自転車等駐車対策協議会の機能と鉄道事業者に対する協力の働きかけ、二重川整備の負担割合と水害解消策。歳入は、財源調整基金の残額。第二表継続費補正は、補助金カット。第三表地方債補正は、償還計画、等の質疑が

あった。

議案第二号(下水道会計)

下水道事業計画の見直しと

予算措置、等の質疑があった。

議案第三号(船橋駅南口) 県補助金の大幅削減、一般会計繰入金に対する貸付金貸し出し、等の質疑があった。

見舞金見直し、被害者住宅。船橋駅南口市街地再開発事業特別会計
権利者との交渉、施設利用。中央卸売市場事業会計
市場の取扱高、商店に物を買ってもらおう努力と支援策。病院事業会計
事故防止策、看護婦の年休消化、救急医療の普及。

国民健康保険事業特別会計

保険証未交付、国保・介護の市民負担の整合性。

小型自動車競争事業特別会計

経営改善委員会の三者協議。火災等災害共済事業特別会計

決の結果、一、二、三、四号は全会一致で可決とすべきものと決した。

可決された意見書

リバース・モーゲージ制度の確立に関する意見書

音楽療法士の国家資格制度創設等に関する意見書

学校教育における「研究開発学校制度」の拡大に関する意見書

法務局職員の増員に関する意見書

男女共同参画社会の推進に関する意見書

住民投票結果の尊重に関する意見書

保育料の保護者負担軽減に関する意見書

保育所の最低基準改善に関する意見書

JR労使紛争の早期解決に関する意見書

朝鮮民主主義人民共和国との国交樹立実現に関する意見書

中学校社会科教科書への葉書問題等記述に関する意見書

市清会



米井 昌夫
佐々木照彦
榎田 信明
興松 勲
田久保好晴
中村 洋
佐藤新三郎
田中 恒春

新しい世紀の幕が開きました。
二十一世紀が、後代の人から
平和の世紀と呼ばれるように
祈念してやみません。
私たち市清会の八名は、
藤代孝七市長を支えながら、
市内のすべてのご家庭に平和の
温かい光が注がれ、
住んで良かったという船橋の街づくりに
全力を尽くして参ります。

緑政会



門田 正則
木村 哲也
小仲井富次
七戸 俊治

新年明けましておめでとうございます。
21世紀の幕が開かれ、地方分権の推進と
共に、地方政治も大きな変革を遂げる時
が参りました。私共緑政会一同は、少子
・高齢化問題を中心に環境、地域経済の
発展、都市基盤整備、行財政改革等の諸
問題に全力で取り組み、積極的に議論し
て参ります。
これからも温かいご支援を賜りますと共に
に、市民の皆様のご多幸を祈念致しまし
て新年のご挨拶とさせていただきます。

ふなばし21



中村 実
田久保捷三
長谷川 大
和田 善行
大沢 久
早川 文雄
森田 則男
瀬山 孝一

平成十三年の年明け。
穏やかな新春をお迎えのこととお慶びを申し上げま
す。
「ふなばし21」には政策があります。
「ふなばし21」は的確に政策を実現致します。
市民の皆様のご期待と要望にお応えしていくことを、年
頭に際し改めて誓います。
将来を確実に見据えた現実的な政策で、責任ある政策
集団「ふなばし21」はひたむきにそして全力で、期待
に応えます。

新風



中村 静雄
斉藤 守
佐藤 浩

21世紀の船橋をどうするか。
私たち三人に与えられた責務と痛感
し、行く末を見据えて果敢に問題提
起をまいります。
「生活者起点」の政策の発信、実
現のために、議会、行政に「新しい
風(息吹)」を吹き込み、市民と協
働して夢と希望のあるまちづくりを
進めてまいります。
本年も皆様のご支援、ご協力をよ
ろしくお願いいたします。

無所属



小石 洋



野田 剛彦

日本
共産党



高橋 忠
石川 敏宏
岩井 友子
金沢 和子
関根 和子
佐藤 重雄
津賀 幸子
草野 高徳

地方政治も国政も切り替えよう、選挙の年
新しい世紀を迎えました。「雇用や老後の生活不安のないくらしを」という当たり前のことが実現できる政治が国民の願いです。借金を極限なく増やし、浪費を続ける自公保の政治を切り替えようではありませんか。
今年には県知事、そして市長、参議院選挙と続きます。政治の流れを決めるのは、国民一人ひとりです。今年こそ、国民が主人公の政治へ大きく前進しましょう。国民主権・民主主義を大切にしてきた政党として、今年もみなさんと共にがんばります。
高齢者、子どもが安心して住める船橋市政に
日本一の小学校給食を民間委託にしたり、学童保育指導員の大量解雇など、民意無視の政治が強行されました。JR船橋駅南口再開発など多額の市税を投入する大型公共事業優先を改め、子どもや高齢者などに暖かい政治を実現しましょう。

21世紀を迎えて 各党派 新年の抱負

市民連合



中江 昌夫
千葉 満
池沢 敏夫
斉藤 誠

福祉を大切に
高齢者や障害者にやさしい街づくりを
環境を大切に
人と自然にやさしい街づくりを
平和と文化を大切に
緑豊かな街づくりを
市民の声を大切に
市民本位の市政をめざします
すばらしい
二十一世紀でありますように

公明党



斉藤 忠
鈴木 郁夫
上林 謙一郎
高木 明
倍田 賢司
松崎 裕次
村田 一郎
角田 秀穂
清水美智子

市民の皆さま、西暦二〇〇一年
明けましておめでとうございます
昨年、皆さまから公明党に賜りましたご支援に心より感謝申し上げます。
私ども公明党市議団九名は、二十一世紀の出発にあたり、母と子の笑顔輝く政治の実現へ向けて全力で働いてまいります。
一、希望と生きがいのもてる福祉施策の充実。
一、活力ある地域経済の振興と雇用促進。
一、人と環境にやさしい循環型社会の構築。
一、教育環境の整備と社会教育の充実。
以上の点に取り組みで参ります。
ご支援を心よりお願い申し上げます。
皆さまのご健康、ご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

元気都市と
安歩と女性



朝倉 幹晴
安藤 信宏
さとうももよ

謹賀新年。
私たちは、「元気都市」市財政を研究しバランスシートを試作、また災害ボランティアにも参加の安藤と
「安歩」安全に歩ける街づくりをめざし、乳幼児の親として子育て支援を訴える朝倉と
「女性」介護・育児・家事の負担が女性のみにかからない男女共同参画社会実現をめざすさとう
が連合した党派です。
二十一世紀も市民の方々の様々な願いを、時にはそれぞれ独自に、時には一致して訴えていくつもりです。

ここがききたい 一般質問

ふなばし21

情報教育の促進に向けて

問 本市における小・中学校のコンピュータ導入の時期と現状を伺いたい。

答 昭和六十三年から平成八年までに全校へコンピュータが整備され、今年度までにインターネット接続が出来る体制が確立された。



インターネット授業風景(南本町小)

問 子供たちを指導する教員の研修等の実態はどうか。

答 管理職を含む全教員にインターネット体験研修会の参加を義務付けている。

問 学校現場でのインターネット活用方法を伺う。

答 情報収集や電子メールによる専門家との質疑応答、ネットワーク上での他校との共同学習等を考えている。また、既に、テレビ会議による学校間での意見交換活動を始めた。

教育委員会の役割を問う

問 教員出身者ではない委員に求められる意義は何か。

答 ごく普通の民間の英知を教育行政の中に生かし、よりよい教育を構築していくこととする。

問 教育委員会会議では率直

な意見交換がされているか。

答 いろいろな意見を出し合いながら船橋の教育行政のために力を尽くしている。

介護保険制度について

問 痴呆性老人の審査にはどのように対応しているのか。

答 精神科医師の委員がいる審査会が主に審査をするように配慮している。また、検討委員会を設置し、よりよい審査方法が行われるよう研究している。

問 この制度の円滑化を図るためどのような対策が必要と考えるか見解を伺う。

答 ケアマネージャーの充足と資質の向上のための研修会の開催、本年度設置予定の(仮称)船橋市介護保険事業者管理委員会による、事業者のレベルアップ等に努めていきたい。

より開かれた市政を目指して

問 政府の政策や事業に対し、客観的に分析・評価を行う政策評価制度の導入について見解を伺う。

答 作成中の事務事業評価システムの中で検討したい。納税者の視点から政策効果を見直す手法の必要性と行政の積極的な説明責任の遂行が求められると考えるがどうか。

広報やホームページ、市政懇談会や出前講座制度の設置など市民の意見を生かしながら行政が行う事業の内容説明に努めている。

問 政策決定過程を明らかにし、大きな政策の透明性を

確保することはできないか。

答 事業内容の情報公開に努め、市民の意見を取り入れた事前評価を検討したい。また、公文書公開制度、個別外部監査制度やバランスシートの導入についても研究をしている。

広報活動について

問 記者クラブ等報道機関に対して、市政の情報などをどのように提供しているのか。

答 年八回の定例記者会見の開催、市の事業を担当者が直接説明をする「レクチャー」や、「資料配布」を行うなど様々な手法で情報提供に努めている。

問 広報ふなばしについて市政への理解を深めてもらう紙面づくりに出来ないか。

答 形式等の改善はしているが、再度検討をしたい。

環境対策を問う

問 本市における自動車排ガス測定結果に対し、どのような対応をしているのか。

答 測定結果を市民に公表し、市内のバス・トラック業者に対しては、アイドリングストップの奨励やディーゼル微粒子除去装置の装着等を働きかけている。



早期の排ガス対策を

問 近隣市との連携を図り対応すべきと考えられるか。

答 国、県、東京都等隣接自

日本共産党

市民のための予算編成を

問 乳幼児医療費助成制度について、県は十二月定例会で現物給付を検討する答弁をしたが、市も対応するか。

答 今後は県の動向を踏まえ、推移を見ながら検討したい。

問 小中学校の耐震診断、補強工事が二年続けて見送りとなっている。市の最重要課題として強く求めるとともに、予測される総事業費と終了時期を伺う。

答 平成十三年年度以降は、関係部課と協議し、早急に診断及び補強工事ができるよう取り組んでいく。また、費用は、実施していない三校で概ね二億八千万円程度

地方分権の推進のために

問 市民の提案を受ける行政組織としてのシステムを構築すべきと考えられるか。

答 船橋市政会議議程を制定・施行したことにより、職員が市民との現場の声を聞きながら、局部門相互の総合調整を行い、市政を計画的かつ効率的に推進することとしている。

若手職員の意識の活性化と職階に関係なく提案を生かすことが必要ではないか。

答 庁内に設置されている委員会や研究会等は若手職員が中心となっており、その中の意見は最終的な委員会で報告、議論されている。

になり、時期については、可能な限り努力していく。

問 教育条件が他市よりも後退してしまっている本市において、新年度予算に少人数学級などの教育条件の整備を重点課題として位置付けるべきではないか。

答 二十一世紀はまさに教育の充実を考えているので、教育委員会とよく話し合いをさせて欲しい。

駐輪場を取り巻く諸問題

問 船橋駅や津田沼駅周辺の大型店の駐輪場が整備されていない。大型店にも駐輪場整備を要請してはどうか。

答 昭和五十七年に附置義務の条例ができたが、それ以前の大形店にも設置方を要請していききたい。

津田沼駅北口第一・第二駐輪場について、日ぎめの台数を増やす考えはないか。

答 本年第一定で質問した民間用地や国有地との交渉はその後進捗がなかった。月ぎめ利用者の状況を見て行っている。

生活保護の収入基準の二・二倍を基準に判断しており、生活支援課と十分協議の上、生活保護調査に準じて行っている。

問 預貯金等の調査の定めがないのに、預貯金の残高を加えて判断するのは条例違反ではないか。

答 生活保護の収入基準の二・二倍を基準に判断しており、生活支援課と十分協議の上、生活保護調査に準じて行っている。

ながら、できるだけ要望にこたえている。また、一か所所有地については内諾が得られたので、今後設置に向けて努力していく。

問 整理員詰め所に冷暖房等の設備がなく、賃金についても、近隣他市に比べて、余りにも額が低い。改善を求めるがどうか。

答 今後とも少しでも改善できるように努力したい。



違法駐輪が目立つ船橋駅北口

介護保険料の減免基準を問う

問 預貯金等の調査の定めがないのに、預貯金の残高を加えて判断するのは条例違反ではないか。

答 生活保護の収入基準の二・二倍を基準に判断しており、生活支援課と十分協議の上、生活保護調査に準じて行っている。

無所属

「むむむ」の「むむむ」制度

問 市内の小中学生の体力が低下している傾向にあるが、具体的な方策はないか。

答 現状を踏まえ、体育学習の質的向上、運動部活動の活性化、体育施設の充実等に向け、体育振興に努めていく。

預貯金の調査も含まれる。

障害者の福祉について

問 障害者基本法では第三十条で障害者施策推進協議会が設置できると規定されている。条例で定めて施設整備や財政的援助を検討すべきではないか。

答 今まで行ってきた二十九名による協議会に相当するものをいま一度立ち上げた。

問 福祉タクシーの利用に関する規則の中の「市長が特に必要と認めたときはこの限りではない」との但し書は、実際に住んでいても住民登録されていない方の救済措置のことだが、歪んだ解釈ではないか。

答 立法者の意思やその規則の目的に立ち返り、判断すべきとの見解を得ている。

市内業者にもっと仕事を

問 船橋駅南口再開発ビル発注工事の元請け業者に対し市長名で市内業者の利用を訴える要請をしてきたか。

答 改めて市長名で要請するなど対応していききたい。

所属会派の変更

野田 剛彦議員

十二月二十六日付け、「元気都市と安歩と女性」から「無所属」となりました。

小石 洋議員

十二月三十日付け、「ふなばし21」から「無所属」となりました。

章の中で可能な限り使用するよう要請している。また、現場での定例打ち合わせ会議等において、二次下請け等についても機会を捉えて工事を要請してきている。

問 市に登録している業者の名簿を元請け業者に積極的に提示すべきと考えられるか。

答 市内業者を優先的に使う働きかけは、名簿等の提供を通じ積極的に行いたい。

学校教育に子どもの権利保障

問 子どもに腕立て伏せをさせている最中、背中に先生が足を乗せたことについては、異常としか言いようがない。二度と子どもに対する乱暴な侵害が起きないよう権利を保障すべき。

答 十一月十八日の朝練習で腕立て伏せ二十回の指示に対して児童が数回しか行わなかったためであるが、体罰と受け止められても仕方ない行為。今後、その提言も踏まえて強く学校現場や教職員を指導したい。

子どもたちの権利の侵害を絶対にしないという約束を、学校という組織として約束させることが必要であるが。

問 これまで元請けJV(共同建設企業体)に市内業者の利用についてどのような働きかけをしてきたか。

答 現在、入札参加者に対して「入札の心得」という文

広報編集委員会

広報編集委員長の改選が行われ、新委員長 朝倉幹晴(元気都市と安歩と女性)

公明党

IT(情報技術)への対応を図るために

問 インターネット利用のた

め基礎技能修得を目的とした講習会について、本市においては何人位の受講者の数を考えているか。また、講習会の開催時期及び期間についての見通しはどうか。

答 船橋市におけるIT講習の目標値は、成人人口の五割約一万九千人である。講習は平成十三年六月から十四年の三月末までの十か月の中で実施する予定である。子どもを預けて受講できる施設はあるか。

答 子どもを連れての受講に

高根地区のシックハウスの

問 建替え事業について市と

しつどのような体制をとる、具体的に公団側に要望などの働きかけを行っているのか。また、市と公団で継続して協議する場を設置して、まちづくりを進めていくべきと考えられているか。

答 前原団地での対応を踏まえ、居住者の意見を聞きながら、必要に応じて公団と話し合いを進めることとしている。将来にわたる大規模な建替え事業であることから、市内組織として「高根台団地建替計画検討委員会」を設置し、今後の対応を検討している。

シックハウス症候群について

問 室内の空気が化学物質で汚染され、暮らしている人

である。通学路でもあり、早急な対応が望まれているがどうか。

答 通学児童の安全確保の観点から、至急現地を調査し、北谷津川に立ち入らないよう、安全対策を行うことについて検討している。

職員の配置について

問 「新規事業にチャレンジ

精神と熱意のある者集まれ」と、自己申告による庁内公募を行うことだが、内容について伺いたい。

答 所属長の要請や必要に応じ、新規事業や特定業務に従事する職員を庁内で公募し、面接等により総合的に選考した後、その業務に職員を配置するものである。



天然素材でシックハウス対策 (三田中)

家電リサイクル法の適正推進

問 平成十三年四月から、家電四品目について、市では収集しない方向で検討しているとのことだが「家電リサイクル法」の適正推進の面から、どのように対応していくのか。また、近隣の状況はどうか。

答 収集を行わず排出される全量を小売業者が引き取る体制の確立に向け、家電商組合や許可業者をつくる一般廃棄物協同組合と協議を進めている。なお、近隣市においても同様な考えであると聞いている。

街の美化対策の面から

問 不法投棄の防止や、そのPRにどのように取り組んでいるのか。

答 不法投棄防止の看板設置やパトロールの強化を図りながら、機動的な投棄物回収体制の整備を行い、市広報やPRチラシの配布、インターネット等も利用して、新処理方式の周知と不法投

船橋市の行政評価システム

問 実施計画にうたわれない

「船橋市にふさわしい事務事業評価システム」とは、どのようなものか。また、市民への情報公開を求める声強いが、行政評価の目的をどこに置くか。

答 市民アンケートや市政懇談会等での市民ニーズを積極的に生かした評価項目を設ける等、船橋市にふさわしいものにしていくと考えている。また、地方分権の推進や厳しい財政下にあることから、事業の効果などを客観的に自己検証し、事業の有効性及び効率性、及び職員の政策形成能力を高める

CAP(虐待防止)プログラムの積極的導入を

問 児童虐待防止への対策と

して教育現場でのCAPプログラムの積極的導入を求めたい。昨年の第三回定例会でも求めたが、その後の研究・検討の結果はどうか。

答 パンフレットを取り寄せたり、主催者からの説明を受けたらして、その趣旨やCAPプログラムの効果について調査検討し、各学校に対しては、その効果について、学校訪問等の折に紹介し、啓発を行っている。現在、数校の小学校でPTA活動の一環として取り入れている。

市民連合

税収確保について

問 競馬にかかる特定レース

等の新税についての検討状況はどうなっているのか。

答 日本中央競馬会からの環境整備費を受けていることなどを十分考慮し、特別レースに対する課税上の手法や効果等について検討している。現在、慎重に比較

「税源確保研究会」にお

問 「税源確保研究会」は、どのような視点で検討しているのか。

答 三つの視点で検討している。第一に、現行における課税客体の適正な捕そく及び確実な収納。第二に、現制度での課税対象の洗い出し及び市税条例改正の可能

緑政会

観光・物産等の広報活動の取り組み状況はどうか

問 十二月二日から二日間、

津軽の観光PRのため、JR船橋駅北口広場で開催された首都圏フェア「青森県津軽観光物産展」は、約三万人の入場者があったとのことだが、他に観光案内や特産品の紹介等はあるか。

答 毎年、駅前的大型店において「岡山県物産展」が行われている。また、他県市から観光客誘致のためのキャンペーンに本市を訪れ

る自治体等が毎年数件ある。こうした催し物は、地域の活性化を促進する事業と考え、今後も出来る限り協力していきたい。

問 本市にも多くの特産品や

観光案内等があるが、これらを紹介したイベント等はあるのか。

答 県外へのPRとしては、毎年(社)千葉県観光協会がJRとの提携により開催する「千葉県観光キャンペーン」において観光マップや物産を配布している。また、本市を開催地として実施される各種大会などに観光推進品コーナーを設け

販売等を行っている。その他、商工会議所や勤労市民センターに推奨品を常設し、PRをしている。

完成が待たれる京成線連続立体交差事業



完成が待たれる京成線連続立体交差事業

ル建設事業に伴い、二階部分で連絡通路が予定される京成線の連続立体交差事業の進捗状況伺う。

答 昨年末から市・県・京成が一体となり地権者との話し合いを進めた結果、海老川付近から船橋競馬場駅付近の区間において、上下線の仮設線路への切り替えが完了した。現在、高架構造物の基礎工事を行っている。来年夏頃には、高架構造物の工事に着手する予定である。

また、関連側道の都市計画道路本町1号線についても、都市計画道路本町海川線の整備と併行し施工されることとなる。

今後については、未買収用地の早期解決を図り、事業の早期完成に努力したい。

新風

障害児の保育について

問 重度の障害児の保育園の

入園について、何としても来年の四月から受け入れてもらえるよう市長の見解と決断をお願いしたいがどうか。

答 重度の障害児を保育している児童すべてを対象とすることには限界があるが、保育園への入所が適している児童の保育の実施について

現在、さまざまな歯科診療

問 現在、さまざまな歯科診療

問 新しく船橋市に転入したときに、「広報ふなばし」を渡したらどうか。

問 エスカレーター等を早急に設置することは、跨線橋の構造問題により困難であるが、他の駅も含め交通バリアフリー法の趣旨を踏まえ対応方法を検討していきたいとの回答を得ている。

交通のバリアフリー化

問 新京成電鉄の中で、北習志野駅に次いで乗降客の多い二和向台駅にエスカレーターあるいはエレベーターを設置する計画はないか。



駅のバリアフリー化を (二和向台駅)

問 図書館の蔵書状況、貸出状況をインターネットで検索できないか。また、同様に駐輪場の空き情報についても公開したらどうか。

答 図書館の蔵書検索等については十三年度に向け検討している。駐輪場の空き情報については、今後公開していきたいと考えている。



緑豊かなまちへ (生垣見本園)

市議会

市長の二期目の出馬意思及び抱負について

市長に、二期目の出馬意思の確意を伺います。

答 五十五万市民のために、郷土船橋の新たな発展のため、市政運営に全力を傾けていく決意である。

問 市政執行に当たっての二期目の構想と抱負を伺います。

答 第一に、JR船橋駅南口再開発事業等、新たな総合計画に示した六つの柱に基づきまちづくりを進める。第二に、中核市への移行を実現し、船橋市の特性を活かした個性あるまちづくりをし、次代を担う子どもたちが誇りに思えるような船橋を築いていきたい。

今後とも、市長としての初心を忘れず、「開かれた清潔な市政」を軸とし、市民参加を積極的に求め、「いきいきとしたふれあいの都市・ふなばし」の実現に向け、まい進していきたくと考えている。

高齢化社会に対する託老所の整備について

問 児童と高齢者の交流を進めるため、保育所と託老所(高齢者の一時預かり施設)の併設についての取り組みはどのようなものか。

答 私立のひばり保育園で高齢者のデイサービスセンターを併設し「ふれあい事業」を実施している。また、三山デイサービスセンターにて、小学校の学級活動時

幼稚園との交流が行われている。

問 保育園の建て替え計画はあるのか。

答 現在、建て替えの計画はないが、世代間交流について



高齢者と児童とのふれあいを大切に

では、公立保育所で実施している地域交流事業等で行っている。今後ともその充実に努めていきたい。

農業振興策について

問 農業後継者の減少防止策及び育成をどう考えるか。

答 後継者が新たな農業経営の試みとして農業施設を設置することに助成やその融資に対する利子補給、及び農業研修や農協の青年部等の活動に対する助成を行っている。

また、農業センターでは、各種の技術研修会等を通じ積極的に育成をサポートしていきたいと考えている。

問 農業技術を子・孫の代まで伝える政策を実行していくべきではないか。

答 県の認定を受けた指導農業士等が各部門に配置され、農業経営及び技術向上の研修を行う制度がある。また、市の農業センター

で指導及び新技術の普及を行っている。

二十一世紀の福祉政策を聞く

問 少子化対策として、子供を生みやすく育てやすくする環境政策を伺います。

答 子育て支援センター等の子育て支援事業及び放課後児童対策等の児童福祉対策の充実のほか、各種母子保健事業の充実、育児休業制度の整備普及を進め、子育ての環境整備を積極的に進めていきたい。

問 高齢社会に対応する施策についてはどうか。

答 健康で生きがいのある生活を送る「若々しく元気な高齢者づくり(ヤング・オールド作戦)」の推進。また、閉じこもりがちな高齢者を地域ぐるみで支え合う「地域ぐるみ福祉活動」の推進等である。

西部地区のまちづくりを聞く

問 西部地区にマンションが林立しているが、用途地域に見合った土地利用の誘導策はあるのか。

答 マンション等の建設については、関係法令等に適合していれば認められるが、地域住民と一緒に計画づくりをしていく地区計画制度や建築協定によって対処することが効果的と考える。



マンション建設が進む西船地区

元気都市と安歩と女性

西船橋駅周辺に保育園増設を

問 西船橋駅南側のマンションの増加で、西船保育園が満員であるので、保育園を新たに建設できないか。

答 当地区に保育所を建設する具体的検討に入っている。路地裏を子どもたちのために

問 こどもの日に開放しては、相談があれば、いつでも交通管理者と協議したい。

医療センターについて

問 産休・育児休業代替の職員を確保すべきではないか。

答 医師は、同じ科が専門の医師を臨時雇用したい。看護婦・助産婦については、

合計十人を常時配置済み。現在一人勤務の新生児病

問 床室の看護婦を直ちに二人勤務にすべきだが。

答 今後、検討していく。



常に満員状態の西船保育園

財務基礎データの公開を

問 バランスシートの公開について進捗状況はどうか。

答 ほぼ出来上がっているが、いろいろな条件や説明を加えて近づこうと発表した。

問 市社会福祉協議会の体制は

答 会費を納めるだけの特別会員を、会長自らが議員に求めていくことは公職選挙法に違反しないか。

答 市及び県の選挙管理委員会に照会したところ、奇附行為に抵触する恐れがあること。今後、指導したい。

問 職員一人を地区社協に派遣した場合は、市社協の

答 地区社協は、助け合い等の具体的サービスが主な目的で、役割も違うので、市社協の分割は考えられない。



次回定例会のお知らせ

次の定例会は、
2月28日(水)開会の予定です。

●会議録の閲覧について
会議録は最寄りの
公民館及び図書館で
閲覧ができます。

請願・陳情議決結果一覧表

議会運営	文 教	建 設	環境経済	厚 生	総 務	付託委員会
陳情第76号	陳情第87号	陳情第82号	陳情第76号	陳情第67号	陳情第56号	受理番号
陳情第89号	陳情第86号	陳情第80号	陳情第77号	陳情第69号	陳情第57号	件 名
陳情第90号	陳情第88号	陳情第81号	陳情第78号	陳情第70号	陳情第58号	
	陳情第85号	陳情第83号	陳情第79号	陳情第71号	陳情第59号	
	陳情第84号	陳情第84号	陳情第80号	陳情第72号	陳情第60号	
	陳情第87号	陳情第85号	陳情第81号	陳情第73号	陳情第61号	
	陳情第88号	陳情第86号	陳情第82号	陳情第74号	陳情第62号	
	陳情第89号	陳情第87号	陳情第83号	陳情第75号	陳情第63号	
	陳情第90号	陳情第88号	陳情第84号	陳情第76号	陳情第64号	
		陳情第89号	陳情第85号	陳情第77号	陳情第65号	
		陳情第90号	陳情第86号	陳情第78号	陳情第66号	
			陳情第87号	陳情第79号	陳情第67号	
			陳情第88号	陳情第80号	陳情第68号	
			陳情第89号	陳情第81号	陳情第69号	
			陳情第90号	陳情第82号	陳情第70号	
				陳情第83号	陳情第71号	
				陳情第84号	陳情第72号	
				陳情第85号	陳情第73号	
				陳情第86号	陳情第74号	
				陳情第87号	陳情第75号	
				陳情第88号	陳情第76号	
				陳情第89号	陳情第77号	
				陳情第90号	陳情第78号	
					陳情第79号	
					陳情第80号	
					陳情第81号	
					陳情第82号	
					陳情第83号	
					陳情第84号	
					陳情第85号	
					陳情第86号	
					陳情第87号	
					陳情第88号	
					陳情第89号	
					陳情第90号	

議案議決結果一覧表

議案番号	件 名	議決結果
第1号	平成12年度船橋市一般会計補正予算	可決
第2号	平成12年度船橋市下水道事業特別会計補正予算	可決
第3号	平成12年度船橋市船橋駅南口市街地再開発事業特別会計補正予算	可決
第4号	平成12年度船橋市介護保険事業特別会計補正予算	可決
第5号	中央省庁等改革関係法施行法等の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	可決
第6号	船橋市火災予防条例の一部を改正する条例	可決
第7号	船橋市放課後ルーム条例の一部を改正する条例	可決
第8号	船橋市営住宅条例の一部を改正する条例	可決
第9号	坪井地区における公共下水道事業(関連既成市街地事業・地区内)に関する平成12年度年間委託等契約の締結について	可決
第10号	西浦下水処理場高度処理機械設備工事請負契約の締結について	可決
第11号	損害賠償の額の決定及び和解について	可決
第12号	平成12年度船橋市一般会計補正予算	可決
第13号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決
第14号	特別職の職員の給与等に関する条例及び船橋市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例	可決
第15号	市長等の期末手当の特例に関する条例の一部を改正する条例	可決
第16号	教育委員会委員任命の同意を求めることについて	同意

第1号・第3号・第12号・第13号については、日本共産党のみ反対。その他の議案については、全会派賛成。

※ ○-採択 ×-不採択 △-継続 全-全会一致 多-多数